

Strings Interview

チェリストとして、ソロ、デュオ、クワルテット、オーケストラと八面六臂の活躍をしているクリステイナ・レイコ・クーパーさん。今年も、愛知万博でタン・ドゥンのチェロ協奏曲を演奏するなど、日本での公演も変わらず多い。年末には、ヴァイオリニストのローラ・フラウチさんとともに「クリステイナ&ローラ」のクリスマス・ツアーがある。



チェリスト

クリステイナ・レイコ・クーパーさん

これからは映像も重要

— 愛知万博では、タン・ドゥン作曲のチェロ協奏曲を演奏されたそうですね。

「タン・ドゥン作曲のチェロ協奏曲を彼自身の指揮で演奏できたということは非常にエキサイティングなことでした。この曲を演奏するのは、今回のツアーが初めてだったので、日本に来る前には上海で上海交響楽団とも演奏してきました。

この作品はチェロのソロとオーケストラ、それから、オケの後ろにセットされた大きなスクリーンに映し出される映像と、その音楽とによって構成されています。

一楽章では打楽器が活躍するのですが、モティーフが非常にリズムカルです。

中国に、古くから伝わる『嘆きの歌』という歌があります。この曲は、自分の意志に反してお嫁に行かされる女性の気持ちを歌ったものです。このメロディーをチェロが演奏します。

一曲通して、様々なエスニックな



ん生み出されている段階だと思いま
す。今はストレートに、ただコンサ
ートを真っ正面から写しているとい
うものが多いようですが、今後はい
ろいろなオプシヨンが増えてくるの
ではないでしょうか。

サラウンド効果で、より臨場感の
ある音で聴くことができたり、ある
特定の楽器の音だけを選んで聴くこ
とができたり……というような、
様々な進化をすると思います。

と聴衆との間に厚い壁があること
です。

そういったことを考えると、今回
のタン・ドゥンとの共演のように、
できるだけ多くの作曲家、そして、
クリエーターたちと一緒に作業をし
て、常に最新の技術に携わっていく
ことは、聴衆ともっと身近になるた
めにも、とても重要なことだと思
います。」

「私の両親は音楽家でピアノとヴ
ァイオリンを演奏していましたので、
その影響で楽器を始めたのです。ま
ずピアノから始めまして、それから
ヴァイオリンでした。」

ところがピアノは好きだったので
すが、私は小指がとても短いので
ね。ですからピアノは向いていない
かな、ということになったのです。
それから、ヴァイオリンはあの不自
然な構えと、高いキーキーした音が
どうしても好きになれなかった(笑)。

あるとき、父が友人たちのサウン
ド・チェックに行きました。私はた
またま一緒に付いて行って、シユ
ベルトの五重奏曲を楽譜を見ながら
聴いていたのですが、この作品がた
ちまち好きになり、チェロの音に魅
せられ弾きたくなったのです。

両親はチェロを弾くことができま
せんでしたから、私に対して、ああ
しなさい、こうしなさいと、口を出
されることもなくて(笑)、自分だけ
で勉強できるということでも、より
楽しかったのです。」

「その当時受けた印象は、今も変
わらずに？」

Expensive But Not Cheep

良いバイオリンも安いバイオリンも沢山あります。
安くて良いバイオリンを提供できればと思っております。

www.child-violin.com

子供バイオリン専門店・新品中古多数在庫

チャイルド・バイオリン
宮城県仙台市青葉区片平 1-2-40
TEL.022-264-4204



私は人を押さえ込むような、戦闘的な気持ちを他のチャンネルに振り向けることができなかと考えます。

問題は教育を受けられない人たちがいるということですが、世界中でどういうことが起こっているのかが分からない、他の人の立場になって物事を考えられない人たちというのが出てきますと、これは非常に問題になってくるのではないのでしょうか。

戦争があれば世界中に怒りが増し、そうなる、ますます自分の世界、自分の殻にこもってしまいます。外

の状況を客観視できなくなり、ますますコミュニケーションとい

類というものが花を咲かせるためにも、お互いのことを理解し合うことが大切だと思います。」

——その場合音楽が、コミュニケーションを円滑にしてくれると思いますか？

「音楽はコミュニケーションがはかりやすいものだと思います。音楽にはそういった力があると思います。」

います。音楽というのは基本的な人間の感情、言葉では表現できないことも易々と伝えることができます。言葉を使いますと場合によっては誤解が生じてしまうこともあります。また、国によって言語の違いがあったり、国民性の違いがあったり、様々な異なる要素が加わって誤解に繋がる可能性があります。

しかし、音楽はそれらを乗り越えて、人間の忘れかけている感情を表に出して人の精神や魂に触れることができます。

多くの場合、私達はそういった感情が鈍ってしまっていることがあり

こすことができます。心や魂の中にある、人に対しての感情、情熱、共感などを刺激することが出来ると思います。

音楽は昔から現実存在していましたが、人間にとっても重要なものではないのでしょうか。

今回日本で行なわれた、愛知万博での演奏のように、お互いの国のことが分かり合えるように、何かを共に経験することによって、欲びを分かち合ったりすることはとても重要なことだと思います。」

——今年も忙しいスケジュールで。

「クワルテット・ジェラートと共に、トロントを始めカナダ各地で演奏したり、カリフォルニアでシューマンのコンチエルトを演奏したり、アメリカ各地の音楽祭に出演したり、その後は、現代音楽アンサンブルと一緒にキルフィスタンに演奏に行ったり……年末は日本でツアーです。」

——それだけ忙しいと、体調の管理も大変ですね？

「時差が厳しいですね。一番の問題は眠れないということなので、眠ることができれば問題ないです。」

です。取材/日

クラシック音楽の海外公演・国際交流

海外での公演・国際交流は、現地でのマネジメントが大切です。弊社は日本のオーケストラの海外公演・国際交流を、真の意味で成功させて参りました。海外公演・国際交流のお手伝いはおまかせください。

最近の海外公演実績・予定

- 岡山県桃太郎少年合唱団ドイツ公演98年8月(レーゲンスブルク大聖堂他)
- 同志社大学交響楽団ヨーロッパ公演98年3月(ミュンヘン・ヘラクレスザール他)
- 京都市民管弦楽団ヨーロッパ公演99年5月(ウィーン・ムジークフェライン大ホール他)
- ひこねベルリン第九実行委員会99年12月31日(ベルリン・SFB放送大ホール)
- ルーマニアトゥルグ・ムレシュパッハ生誕200年記念コンサート2000年5月(文化宮殿)
- 同志社大学交響楽団ヨーロッパ公演2001年3月(グラーツ・ステファニーザール 他)

ホームページ: <http://www.mitsuma.com/agent/oversea>

協力会社: ルフトハンザドイツ航空会社、全日空、JTB、近畿日本ツーリスト、AIU保険会社



(株) ミツマ・ミュージックプロダクツ

〒605-0009 京都市東山区三条通大橋東入ル大橋町102 田中ビル5F Tel.075-761-1213 Fax.075-752-5568